

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

会社 ナスクリエイト株式会社
住所 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 3-8-4
担当部門 及び 緊急連絡先 営業第一部
電話番号 03-3664-2669 FAX番号 03-3664-2667

作成・改訂 平成 28 年 7 月 1 日

製品名(商品名等) 560クリーナー

2. 危険有害性の要約

GHS分類	物理化学的危険性	可燃性固体	区分外
	生化学的危険性	急性毒性(経口)	区分外
		皮膚腐食性/刺激性	区分2
		眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分2
		皮膚感査性	区分1
	環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	区分3

※記載のない項目は、分類対象外、分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語

警告



危険有害性情報

○皮膚刺激○強い眼刺激○アレルギー性皮膚炎を引き起こすおそれ○水生生物に有害

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 混合物
化学名又は一般名 洗浄剤

成分	含有量 (wt%)	化学式	官報公示整理番号	CAS NO
ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(C=12-15)	11%	RO(CH ₂ CH ₂ O) _n H (R:C12~C15)	(7)-97	非公開
鉱油	11-20%	特定できない	非公開	8020-83-5
トリエタノールアミン	1-10%	C ₆ H ₁₅ NO ₃	(2)-308	102-71-6
脂肪酸セッケン	非公開	非公開	非公開	非公開
油性溶剤	非公開	非公開	非公開	非公開
精製水	非公開	H ₂ O	なし	7732-18-5
添加剤(香料等)	非公開	非公開	非公開	非公開

4. 応急措置

皮膚に付着した場合: 直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぎ取り去ること。適温の穏やかな流水により、15分以上洗浄すること。多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを受けること。脱いだ衣類を再使用する前に洗濯し汚染除去すること。

目に入った場合：こすらずに清浄な水で 15 分間以上、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用して
いて容易に外せる場合は外すこと。洗浄を続けること。医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合：水で口の中をよく洗浄する。可能であれば指をのどに差し込んで吐き出させる。
被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならないし吐かせようとしてもいけ
ない。ただちに医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤： 初期火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。
大規模火災には泡消火剤を用いて空気を遮断する。
特有の危険有害性： 特になし。
消火を行う者の保護：消火作業の際は、空気呼吸器を含め防護服(耐熱服)を着用する。
関係者以外は安全な場所に退去させる。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：多量の場合、人を安全に退避させる。
環境に対する注意事項：流出した大量の製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさな
いように注意する。
除去方法：少量の場合は、ウェス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。
大量の場合には盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
二次災害の防止策：付近の着火源となるものを取り除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：取扱い場所の近くに洗眼、水洗設備を設けることが好ましい。
局所排気・全体換気：取扱いは換気の良い場所で行う。
安全取扱い注意事項：取扱いは手をよく洗う。手や顔などの人体に使用しない。荒れ性
の人や長時間使用の場合は、ゴム手袋を着用する。傷、はれもの、
湿疹等、異常のあるときは使用しない。
使用後は蓋をきちんと閉める。

保管

適切な保管条件：幼児の手の届かない場所で保管する。
温度の高い場所や直射日光の当たる所に長時間放置しない。
安全な容器包装材料：記載すべき情報がありません。

8. ばく露防止措置及び保護措置

設備対策：取り扱い場所の近くに、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。
管理濃度：(製品データ)設定されていない。
許容濃度
日本産業衛生学会：(製品データ)設定されていない。
ACGIH：(製品データ)設定されていない。

参考情報

	トリエタノールアミン	ポリ(オキシエチレン)=アルキル エーテル(C=12-15)	鉱油
管理濃度	決められていない	決められていない	決められていない
許容濃度 日本産業衛生学会 ACGIH勧告値	リストされていない 5mg/m ³	リストされていない リストされていない	3mg/m ³ (鉱油ミストとして) 5mg/m ³ (鉱油ミストとして)

保護具

呼吸器の保護具 : 通常取り扱いでは必要なし。状況に応じ、マスク等の呼吸用保護具を使用する。

手の保護具 : 通常取り扱いでは必要なし。必要に応じて保護手袋を使用する。

目の保護具 : 通常取り扱いでは必要なし。必要に応じて保護眼鏡を使用する。

皮膚及び身体の保護具 : 通常取り扱いでは必要なし。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態 : クリーム状

色 : 乳白色

臭い : わずかに匂いがある

pH : 8.4(1%水溶液)

物理的状態が変化する温度 沸点 : 100℃以上

引火点 : なし

発火点 : なし

爆発限界

下限 : なし

上限 : なし

蒸気圧 : なし

比重(又は密度) : 0.83~0.89g/cm³

溶解性

水 : 可溶

その他の溶媒 : 情報なし

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常取り扱い条件においては安定で危険性はない。

反応性 : なし

避けるべき条件 : 高温、高湿度

避けるべき物質 : 情報なし

危険有害分解生成物 : 情報なし

11. 有害性情報

急性毒性(経口) : 経口 マウス LD₅₀ 17000mg/kg

(経皮) : 情報なし

(吸入) : 情報なし

皮膚腐食性/刺激性 : 一次刺激指数 P.P.I 1.3 弱い皮膚刺激性物質

眼に対する重篤な損傷/刺激性 : 情報なし

混合物の各成分の合計による分類より 区分2

呼吸器感作性 : 情報なし

皮膚感作性 : 情報なし。混合物のカットオフ値より 区分1

生殖細胞変異原性: 情報なし

発がん性 : 情報なし

(成分データ)グループ3 トリエタノールアミン

生殖毒性 : 情報なし

特定標的臓器/全身毒性-単回暴露: 情報なし

特定標的臓器/全身毒性-反復暴露: 情報なし

吸引性呼吸器有害性: 情報なし

備考 :

参考情報

	トリエタノールアミン	ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(C=12-15)	鉱油
急性毒性 LD ₅₀ (経口)	5846mg/kg(マウス) 4920mg/kg(ラット)	2600mg/kg(ラット)	4500mg/kg(ラット)
刺激性 皮膚刺激 眼刺激 (ラビット)	560mg/24H; MILD 20mg; SEVERE 10mg; MILD		500mg/24H; MILD 100mg/24H; MILD
皮膚刺激/腐食性		20%水溶液; 中程度の刺激(ウサギ) 腐食性なし 0.6%水溶液/24H 閉鎖式; 陰性(ヒト)	
眼刺激/腐食性		持続性角膜混濁の中程度の刺激/角膜の腐食は認められなかった 0.1ml、非洗眼、ウサギ、 24-72H/PIS=4.67	
変異原性	染色体異常; ヒト(生体外); 陽性	陰性(復帰変異原性試験; 微生物)	データなし
がん原性	データなし	データなし	IARC; グループ 1(オイルミスト) 日本産業衛生学会; 第一群(オイルミスト)

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性 : 情報なし。毒性推定計算値より 区分3

(成分データ)LC₅₀ 3.3mg/L(ヒメダカ、48hr)

水生環境慢性有害性 : 情報なし

その他 : (製品 0.1%溶液のデータ) BOD 790mg/L
COD 170mg/L

備考 : (成分データ)はホ[®]リ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(C=12-15)の参考値。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物: 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装:

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

IMDG(国際海上危険物規則)コード: 該当なし

ICAO-TI(国際民間航空機関技術指針)、IATA-DGR(国際航空運送協会危険物規則)

: 該当なし

国連分類 : 該当なし

国連番号 : 該当なし

国内規制 : 該当なし

輸送の特定の安全対策及び条件 : 直射日光を避ける。高温体との接触を避ける。

15. 適用法令

化管法(PRTR法) : ホ[®]リ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(C=12-15)

第一種指定化学物質 政令番号 第407号 11wt%

労働安全衛生法 : 第57条の2 第1項(通知対象物) 鉱油、トリエタノールアミン

毒物及び劇物取締法 : 非該当

消防法 : 非該当

船舶安全法 : 非該当

航空法 : 非該当

海洋汚染防止法 : 非該当

備考 : 記載してある化学物質によるPRTR届出のための排出・移動量の把握は平成22年4月からの開始であり、平成21年度分の届出は政令改正前の第一種指定化学物質に基づき行う必要があります。

16. その他の情報

①データシートは、化学製品の工業的な一般取り扱いに際しての安全な取り扱いについての情報を集めたものではありません。②新たな情報を入手した場合は追加または訂正されることがあります。③化学製品に他の化学物質を混合したり、特殊な条件で使用する場合は、ご使用される方が 安全性の評価を実施して下さい。④本データシートは保証値ではありません。
